

市民参加型アイデア募集プラットフォーム「ちばしアイデアボックス」を試行的に開設します ～スマートシティの実現に向けたアイデアや意見募集を行います！～

千葉市では、市民等の市政への参画・協働によるまちづくりを推進するため、株式会社自動処理の協力のもと、試行的に「ちばしアイデアボックス」を開設しますので、お知らせします。

「ちばしアイデアボックス」は、インターネット上でアイデアや意見を簡単かつ手軽に投稿でき、参加者同士で議論することが可能な市民参加型のプラットフォームです。今回は、スマートシティに関するテーマで意見を募集しますので、併せてお知らせします。

1 開設日

令和4年1月6日（木）

2 利用方法

市ホームページから「ちばしアイデアボックス」のWebページにアクセスしてください。

【URL】https://www.city.chiba.jp/sogoseisaku/miraitoshi/smartcity/smartcity_ideabox.html

※投稿する際は利用者登録が必要です。詳細はホームページをご覧ください。

3 利用料

無料

4 募集テーマ

1月6日（木）～31日（月）で、スマートシティに関する意見を募集します。

No	テーマ	概要
1	困った！スマートフォン操作	スマートフォンで「電話」・「メール」・「SNS」・「カメラ」・「地図」・「キャッシュレス決済」などを利用する際に、操作方法について困ったこと、戸惑ったこと、わからなかったこと等を募集するとともに、望ましいサポート内容等について、参加者同士で議論を深めます。
2	ちばレポ活用を推進しよう！	道路や公園の不具合など、地域の課題を市民がレポートすることで、市民と市役所、市民と市民の間で課題を共有し、合理的、効率的に解決するためのICTツール「ちばレポ」。ちばレポをより多くの方に知ってもらい、使ってもらうためのアイデアを募集するとともに、参加者同士で議論を深めます。
3	意見募集！スマビジョン案	令和4年3月末の公表を予定している「千葉市スマートシティ推進ビジョン」について、パブリックコメント(※)の実施に先立ち、案への意見を募集するとともに、参加者同士で議論を深めます。 ※パブリックコメントは令和4年1月中旬から実施予定です。

※募集期間終了後は、新しいテーマ等に更新を予定しています。

<参考>

アイデアボックスについて

株式会社自動処理が提供する政府・自治体に特化した住民と行政を直接つなぐ意見募集プラットフォームです。令和3年12月に「アイデアボックス 2.0」がリリースされることに伴い、政府・自治体向けに半年間の無償貸与サービスが提供されたことから、試行的に活用するものです。

【主な利用実績】

内閣府 「国民の声アイデアボックス」(2010年)

内閣官房 「デジタルガバメントアイデアボックス」(2016年)

内閣官房 「デジタル改革アイデアボックス」(2020年)

高松市 「たかまつアイデアFACTORY」(2021年)

三重県 「みえDXアイデアボックス」(2021年)